

教科	児童・生徒の学習状況分析	具体的な授業改善策	評価・検証方法、目標値
	更に工夫したい点		評価(◎、○、●)
国語	・漢字を間違えて覚え、正確に書けない児童がいる。	・間違いやすいポイントを示す。漢字のテスト等以外でも復習の時間を作り、学習時間を確保する。	◎漢字ミニテスト、学期末のまとめテストでの平均点を上げる。(学級平均85点以上)
	・正しい文章構成や文章の書き方ができない児童がいる。	・文章を書く際に段落や句読点・鈎等の使い方を指導する。	●指導の時間を計画的に設定し週案に明記する。朝学習に作文の時間を確保する。(月1回)
社会	・グラフや写真、資料から差異や特徴などの情報を正しく読み取ることが難しい児童がいる。	・グラフや写真、資料の読み取り方を丁寧に指導し、読み取る機会を増やすとともに、読み取る必要性を実感できるような活動を設定する。	○ワークテストやノートのみ等資料活用スキルを確認する。(テストごと)
算数	・数量感覚を養う機会や経験に個人差が見られる。	・具体物を操作する活動や視覚的に捉えることができる教材などを多く取り入れて数量感覚を養うとともに、図をかくて考える機会を多くつくる。	◎ワークテストやワークシート等で、図が正しくかかっているか確認する。(テストごと、正しくかける児童80%以上)
	・基礎的な計算(加法、減法、乗法、九九)の速さ、正確さにおける個人差が大きい。	・基礎計算(主に繰り下がり減法や九九)を繰り返し練習する機会を増やす。	◎ワークテストやワークシート等で、正しく計算できているか確認する。(テストごと、正しく計算できている児童80%以上)
理科	・実験結果から考察をすることが難しい児童がいる。	・実験結果や観察から分かったことを自分の言葉で表すことができるように、学習のめあてを明確にし、めあてに合った考察ができるようにする。	○ノート・ワークシート等で学習のめあてに合った考察ができているか見取る。(単元ごと)
音楽	・個人練習の時間でどうやったらよいか悩む児童が数名いる。	・児童同士で見合えるペア学習を多く取り入れ、児童たちで技術を高められるようにする。	◎個人練習の時に全児童に声をかけ、課題に取り組んでいるか確認をする。
	・思いをもって工夫しようとするが、それを表現する技術が伴っていない児童がいる。	・表現の方法をいくつか提示して参考にできるようにする。	◎演奏を聴取したり、ワークシートを活用したりして児童の様子を見取り、80%以上の児童が思いに沿った表現ができるようにする。
図画工作	・興味・関心が高い児童が多いので、一層高められる活動を授業に組み込む。	・児童が自分なりに一層工夫できる技法や材料などを用意する。	◎作品鑑賞を通し、児童同士が工夫した点や新たに発見したことなどを交流する時間を設ける(毎時間5分程度)。
	・学習の流れは概ね理解できるが、留意点などを理解していない児童もいる。	・必要に応じて全体指導で注意を促したり、班内で確認する時間を取り、児童同士でもフォローできる習慣を付ける。	◎全体指導の際、挙手で確認する。また、机間指導で個別に声を掛けて確認する。
体育	・自己の課題を把握し、解決の仕方を見付けて、意図的に取り組むことが苦手の児童が多い。	・各単元において、体育ノートを活用し、自分に合った目標を設定しながら運動できるようにする。また、グループで見合ったり教え合ったりする機会を意図的に設定し、いろいろな課題解決の仕方に触れられるようにする。	◎体育ノートの記述や、授業中の活動の様子、発言等から全児童が自分に合った目標を設定しながら運動しているかを見取る。(単元ごと)
	・運動量の確保と技能を向上させるための工夫が更に必要である。	・運動にあった人数のグループで活動し、運動量を確保する。 ・教員や児童による手本を見せたり、反復の練習をさせたりしながらできたことを褒め、自信につなげる。	◎運動量を意識して授業を組み立てるとともに、児童に自己評価をさせ、行動観察を行う。(単元ごと)
道徳	・日頃の生活と結び付けて考えられている児童が限られており、児童一人一人が、自分のこととしてより深く考えられるようにしていく必要がある。	・授業の終末で、現実場面を想起して考える場面を作り、自分の生活に立ち戻って考える時間を必ず設ける。	◎振り返りの時間を毎時間設け、ワークシートに記述した内容から見取るとともに、日頃の生活の様子からも変容を見取る。
外国語活動	・基本的な挨拶や単語の習得に、個人差がある。	・授業中に行うスモールトークを通して、いろいろな挨拶や単語に触れる機会を多くする。	○授業中の様子から児童の様子を見取る。(毎時間)
	・自信をもって取り組んでいる児童が限られている。	・歌やゲームなど、楽しんでできる活動を工夫して、繰り返し声に出して練習する機会を増やし、自信を付ける。	・全員が1人でみんなの前に立って英語で自己紹介ができるようにする。(3学期末)
総合的な学習の時間	・主体的に考えたり、表現したりする力に差がある。	・単元ごとに一つ以上の体験活動を入れ、実感を持って意欲的に活動できるようにする。 ・多様な表現方法(新聞、劇、ポスターなど)を児童に紹介し、だんだんと児童自身が考えられるようにしていく。	○授業中の活動の様子、発表時の様子などから児童の変容を見取る。(毎時間)